

政府・東京電力中長期対策会議 運営会議 第1回会合 議事概要

日 時： 平成23年12月26日(月)10:00～11:20

場 所： 東京電力 本店 本館1201会議室

出席者：【共同議長】

園田大臣政務官(内閣府), 北神大臣政務官(経産省), 相澤副社長(東電)

【顧問】神本大臣政務官(文科省)

【委員】朝日委員(経産省), 山下委員(東電), 山本委員(保安院),

加藤委員(文科省), 横溝委員(JAEA), 岡村委員(東芝), 丸委員(日立)

議 事:

1. 共同議長, 顧問より、冒頭ご挨拶

- ・ 運営会議は、中長期ロードマップを確実に推進する役割を担っている。細野大臣、枝野大臣からの指示のとおり、作業安全を確保した上で、住民の皆さまが一日でも早くご帰宅出来るよう可能な限り前倒しで進めたいと考えている。関係機関の皆さまのお力添えをお願いしたい。(園田大臣政務官)
- ・ 中長期ロードマップの実現には研究開発の成果が鍵。現場のニーズを随時反映させながら機動的に進めることが重要。
また、地元の皆さまをはじめ国内外の多くの方々を注目しており、情報発信に力を入れていきたい。(北神大臣政務官)
- ・ 文科省はこれまで環境モニタリング、除染技術等の分野で協力してきた。発電所周辺住民を始め、国民全体が不安、不信を持っている。中長期ロードマップの実現のため、JAEAを通じて国際協力も得ながらしっかりと技術開発を進めていく。(神本大臣政務官)
- ・ 現場を預かり、事故の当事者でもある東京電力にとって、中長期ロードマップの実現は最も重要な取り組みである。地元を始め、国内外の皆さまに与えた不安、不信を解消できるよう関係機関の皆さまのご指導を頂きながら全力で取り組む。(相澤副社長)

2. 運営会議の設置について

- ・ 事務局より、会議の運営について、資料に基づき説明し、以下のとおり行うことを確認した。
 - ① 原則として、毎月第4月曜日に定例で開催
 - ② 開催予定は事前に公開
 - ③ 配付資料、議事概要は原則公開
 - ④ ノウハウの関係で非公開にする場合は、資料に明示し、判断は議長に一任

3. プラントの状況について

- ・ 東京電力から資料に基づき説明し、原子炉が安定的な状態にあることが確認され

た。

4. 個別の計画毎の検討・実施状況

- ・ 東京電力より、当面の計画に関して、活動方針と直近の動向等について資料に基づき説明。特に、循環注水冷却と滞留水処理の分野について詳細な内容を説明。委員より以下のコメントがあった。

<循環注水冷却>

- ・ 2号機PCV内調査は重要な課題。現場での安全確保を第一に考え、提案どおり進めること。

<滞留水処理>

- ・ 地下水の流入抑制効果とタンクの増設を含めて、今後数年間の滞留水処理の見通しを検討すること。

5. その他

- ・ 第2回の会合は以下の日程で開催する。
平成24年1月23日(月)10時～

以上